

部門名	機械設備工事
案件名	松江市総合文化センター大規模改修(空気調和設備)工事
事業者名	山陰クボタ水道用材株式会社 (山陰クボタ・オンチョウ特別共同企業体)
代表者名	代表取締役社長 杉谷 雅祥
技術者名	監理技術者 門脇 崇之
工事概要	築後 37 年が経過し、老朽化がすすむ総合文化センターの空気調和設備等の更新及び施設の魅力アップのためのリニューアル工事
表彰理由	本工事は、音楽ホール兼図書館という特殊で繊細な用途の建物の空調設備改修工事であった。施設開設時以来の、大型ファンコイル空調設備の更新等、大規模な設備の改修工事であったが、的確な施工管理をもって問題無く完工された。特に、ホールにおける音響、騒音対策は最重要事項で、細心の注意を持って施工する必要があったが、施工前後の各ポイントにおける騒音測定調査等を実施・検証する等、的確かつ綿密な品質管理がなされた。また、施設の維持管理に有効な施工提案を多数行う等、全体として優良な工事であった。

受賞技術者である、山陰クボタ水道用材(株) 門脇 崇之さんにいろいろな思いを伺ってみました。

受賞の感想は？

このたびの受賞は共同企業体として尽力いただいたオンチョウ様、弊社スタッフをはじめ長期にわたる工事期間の中で施工に協力いただいた協力会社の皆さんや関連他工事関係者の協力の上に成り立ったものと思っています。長期間にわたる施工に協力いただいた皆様への感謝を以て代表として表彰を受けさせていただいたという気持ちです。



本工事で心掛けたこと、印象に残ったこと等は？

心掛けたことは「これまでの価値プラスワン」です。改修工事ではそれまでの使用による老朽に対する対処となりますが、この対処は原則当初の



状態が最高です。そこでプラスワンを検討して新しい価値を加え快適空間の助けになれば良いと考えをもって取り組みました。

苦労したことの一つ目は搬入計画でした。他業種との調整を行いながらクレーン配置、搬入計画などを細かく進める必要があり、搬入開始から搬入完了までには約3カ月を要し、その間、気を張り続ける日々でした。二つ目は音響への配慮でした。施工検討時から音響監修との連携を密にし、JVスタッフも初めての勉強をしながら検討を進めましたが音に関しては機器として稼働するようになってからでなければ確認することができず、モヤモヤとした日々を過ごしました。

注目してほしいこだわりは『音』です。本施設のなかでも大ホールやステージ袖では楽器の持つ音色をストレートに届ける事がポイントです。当然、演者や客席に空調は必要ですが空調の騒『音』は極力排除する必要があり、楽器の『音』色は聴いてもらう必要があります。『音』の取捨選択に取り組んだところに注目してもらいたいです。

仕事における今後の目標は？

依頼者の期待を超える価値を創造する仕事为目标です。

建設業のやりがい（いいところ）はどのようなことですか？

仕事に要求される知識が尽きないところがあり、厳しい面もありますが新しい考えや刺激を受けながら仕事に取り組めるところがいいところだと思います。

勤務先である山陰クボタ水道用材(株)のいいところを教えてください。

ださい。

私たちの会社は、水環境の一端を担い快適な市民生活を支えています。多様な事業を展開しながら、激しい時代変化にも柔軟に対応できる会社です。

これから建設業界を目指す人へ伝えたいことは？

建設業界も他業界に比べれば遅れている面が目立つかもしれませんが、確実に効率化の波が来ています。モノづくりも一から作る思想からプレハブ化して省力化する様なパッケージ化も進むと働きかたも随分変わるのではないかと思います。新しい世代を作っていきましょう。



山陰クボタ水道用材株式会社
(写真左) 常務取締役 石橋 氏
(写真右) 監理技術者 門脇 氏